

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

1 / 4

団 体 名	O-garu(オーガル)			
事 業 名	O-garu 親子体験講座			
実 施 期 間	令和元年6月～令和2年3月			
事業の目的及び期待する効果	体験講座を通して、子どもの自己肯定感を高めるとともに、家庭教育を考えるきっかけを作ることができると考えているため、広く周知して、なるべく多くの親子の参加してもらいたいと考えている。 しかし、それでも参加できない家庭のために、「家庭教育ハンドブック」のような小冊子を作り配布することで、多くの保護者に家庭教育の大切さを知ってもらい、子どもたちに豊かな学び、体験教育が広がると考えている。			
実 施 額	事業費	207,909 円	助成額	202,378 円
事 業 内 容	○自然体験講座 12回開催 ○製作体験講座 10回開催 ○その他講座 2回開催 ○「オーガルフエスタ」 1回開催			

○事業の日程について<実施済み分>

2 / 4

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
6月16日 (日)	「ネイチャーゲームをしよう」(自然を活用したさまざまなネイチャーゲームをなえぼ公園で行った)	親子8組	1組(2人)
7月6日 (土)	「海岸でビーチコーミング」(祝津海岸で漂着物を拾い、その漂着物を活用して工作も行った)	親子8組	5組(12人)
7月29日 (月)	夏休み講座「革を学ぼう!革で作ろう!」(豚や牛、馬などの革の違いを学び、その特性を生かした工作も行った)	親子8組	5組12人
8月13日 (火)	夏休み講座「寄せ木クラフト」(木の種類によって色も重さも違うことを学んだあと、夏休みの自由研究用に工作も行った)	親子8組	4組10人
8月14日 (水)	夏休み講座「小枝クラフト」(なえぼ公園を散策しながら材料の葉っぱや小枝を探したあと、それを使って、自由研究用に工作を行った)	親子8組	5組13人
8月15日 (木)	夏休み講座「レジンアクセサリー」(木の皮や花をパーツに使ったオリジナルレジンアクセサリーを作った)	親子8組	3組8人
8月19日 (月)	夏休みの講座「天狗山の森を散策しよう」(自然の村を出発し、小樽の水について学んだり、植物や生き物などいろいろ発見しながら森を散策した)	親子8組	4組10人
9月14日 (土)	「ネイチャーゲーム講座」(葉っぱでゲームをした後、森を散策。公園で拾った落ち葉や木の実を使って工作も行った)	親子8組	4組11人
9月21日 (土)	第2回目となる「革を学ぼう!革で作ろう!」(豚や牛、馬などの革の違いを学び、その特性を生かした工作も行った)	親子8組	3組8人
9月22日 (日)	「畑で野菜を育ててみよう」	親子8組	6組15人
10月6日 (日)	「文字を探そう~英語編」(英語に注目し、いろいろな所に書かれた英語を発見しながら散策した)	親子8組	2組5人
11月16日 (土)	「オーガルフESTA」(実験教室ラムネ作り、親子でクッキング(講師:長谷川まさみさん)、昔遊び体験、しおり作り、クイリング制作、レザークラフト制作、自然体験ゲーム、焼きペン体験、鳥の紙飛行機作り、木のキーホルダー作り、レジン制作、木製おもちゃで	100人	200人

	遊ぶ、など)		
12月7日 (土)	「デコキャンドル&松ぼっくりリース」(子どもたちの感性に任せてカラフルなキャンドルと松ぼっくりを使ったリースを作った)	親子8組	6組15人
12月21日 (土)	「消しゴムはんこ作り」(年賀状づくりに使えるよう、干支の消しゴムはんこを作った)	親子8組	3組9人
12月26日 (木)	冬休み講座「木育～木琴を作ろう」(講師の佐野愉架さんから木の話聞いて学んだあと、親子で協力してのこぎりを使いながらオリジナルの木琴を作った)	親子8組	10組25人
12月27日 (金)	「しめ縄づくり」(しめ縄の由来や意味などを学びながら、親子でしめ縄を作った)	親子8組	7組14人
1月9日 (木)	冬休み講座「生き物プログラム～タンチョウ」(講師の倉内渚さんから北海道の鳥でもあるタンチョウの生態を学んだあと、参加者で協力し実物大のタンチョウを作った)	親子8組	2組5人
1月12日 (日)	冬休み講座「木育～マイ箸作り」(木材にやすりをかけ、オイルを塗ってマイ箸を作った)	親子8組	7組20人
1月12日 (日)	冬休み講座「家の中でネイチャーゲーム」(講師の多々見ゆりかさんから生き物について学び、室内でもできるネイチャーゲームを教わった)	親子8組	7組20人
1月25日 (土)	「マーブルクレヨンづくり」(オイルクレヨン成型に入れて湯煎し、オリジナルのクレヨンを作る)	親子8組	7組20人
2月9日 (日)	「ペンギンを知ろう」(ペンギンのことを学びながら、ディズニーネイチャープログラムで楽しむ)	親子8組	3組6人
2月9日 (日)	「さんぽビンゴ」(さんぽに行く前に自然についてのビンゴカードを作り、どっちに行くといいか考えながら進む)	親子8組	3組6人
2月15日 (土)	「種で遊ぼう」(種について学んだあとは、模型をつくり飛ばしてキャッチして楽しく遊ぶ)	親子8組	3組6人
2月16日 (日)	「災害を知る！役立つ講座」(72時間サバイバル資格者から、家族で災害時に備えて自助・共助できるようになるために学びあう)	親子8組	1組2人
3月7日 (土)	「冬に親子で外遊び」(冬の自然のなかでネイチャーゲームをして楽しむ。講師:多々見ゆりかさん)	親子8組	6組17人

1. 事業の目的の達成度

11月に初めて開催した「オーガルフエスタ」には、毎月行っている講座は参加したことのない親子がたくさん参加してくれたので、オーガルの存在や活動を知ってもらおうという目的はおおむね果たせたと考えている。また、フェスタ以降は、毎月の講座への参加者も少しずつではあるが、増えてきていると感じている。

自然体験と制作体験は人気が高いが、英語や地域を学ぶような「勉強的な要素」のある講座は人気が低かったと感じている。講座の内容に工夫が必要だと感じた。

2. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

毎月の講座に参加してくれた親子は、その場で次の講座を申し込んで帰る方も多い。家庭教育の推進とはいえ、日ごろ家ではなかなか学べないことを楽しく学ぶことができたり、いろいろな体験ができることに、多くの母親たちは満足しているからこそ、次につながっているのだと考えている。

オーガルフエスタは、ぜひ来年もやってほしいと要望があった。小樽市内には、遊戯施設はあっても、オーガルのように楽しく学びながら何かを経験・体験する場が少ないと語る保護者もあり、ニーズの高さを感じている。10時から14時までめいっぱい活動していく親子も多くみられ、満足度は高かったと思う。

3. 今後の事業について

次年度以降は、今年度に行えなかった内容を工夫して、再度募集していきたい。今年度で足りない部分について講座を行っていきながら、「家庭教育ハンドブック」の作成を行う。オーガルフエスタについても、できれば開催していきたいと考えている。